

第2章

経営課題の把握

第2章 経営課題の把握

1 現状の把握

福祉を取りまく環境の変化に呼応し、地域住民のニーズが多様化するなか、地域福祉に対する関心も高まりを見せ、社協が地域福祉を推進する団体としての使命や役割についても大きく変化しています。

また、この数年来続く社協会員加入者の減少や行政からの補助金の削減などにより財政面での厳しい運営状況が顕在化し、自主財源の確保による財政基盤の強化が急務となっています。

そのため、社協を取りまく内外の課題が山積するなか、既存の組織体制や事業運営状況について広く検証するため、職員による検討会や個別アンケート調査、事業別のヒアリング調査などを実施し、社協が抱えている課題を抽出し、把握に努めました。



2 現状の課題と求められること

職員による検討会やアンケート調査、ヒアリング調査などから、現状の課題と今後求められることを抽出し分類した結果、次の4点にまとめました。

(1) 組織に関する現状の課題と求められること

<p>現状の課題</p>	<p>これまで、行政との協働により事業を展開してきましたが、社協に求められる民間としての側面である独自性・柔軟性が十分に発揮できていない状況です。</p> <p>また、事業にかかる経費が膨らんでいくなか、補助金などの減少に加え、会員加入の減少など自主財源の確保が困難となっており、財政面での建て直しも急務となっています。</p>
<p>求められること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成のための組織力の強化および長期的なビジョンの設定 ・ 社協内の意思統一や、認識の共有化 ・ 計画的な人事管理や人材の育成 ・ 事業の内部評価および見直しを定期的に行う制度の構築 ・ 役員や各種委員が社協活動へ参画しやすい環境の整備 ・ 財政状況の健全化に向けた取り組み ・ 行政とのパートナーシップの、より一層の構築

(2) 知名度に関する現状の課題と求められること

<p>現状の課題</p>	<p>福祉関係者・対象者には認知されているが、市民全体にはあまり深く理解されていないのが実情です。</p> <p>そのため、会員や事業協力者を募集する際に理解を得られず、会員数、協力者数が減少してしまっています。</p>
<p>求められること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協という組織自体の、市民へのPR強化 ・ 活動や事業に対する市民の理解の促進 ・ 市民に参加していただける取り組みの企画 ・ 市民が理解し、加入していただける会員制度への見直し ・ より多くの市民に、事業に協力していただけるような仕組みの構築

第2章 経営課題の把握

(3) 地域福祉に関する現状の課題と求められること

現状の課題	<p>社協として、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という）のサポートが十分にできていない現状にあります。そのため、地区社協によって活動内容に大きく幅があり、必ずしも地域に根ざした活動が行われているとは言い切れない状態です。</p>
求められること	<ul style="list-style-type: none">• 地域における必要性・独自性の確立• 地域のなかで連携して問題を解決できるような体制の構築• 地区社協の拠点の整備および、人材の発掘・育成• 地域の課題を見つけることができる仕組みづくり• 小地域活動の取り組みの推進• 大規模災害時や、制度のはざまにある課題への対応の検討

(4) 事業に関する現状の課題と求められること

現状の課題	<p>事業の定期的な見直しや評価が不足している状態であり、時代の流れや市民のニーズに合った事業展開へと発展・拡充を図っていくため、事業の精査・検討を行う必要があります。</p>
求められること	<ul style="list-style-type: none">• 既存事業の抜本的な精査・検討• 市民のニーズに合った独自事業や、今後必要になる事業の検討